

6 データのコンバートについて

データコンバートはいくつかの制限事項があるものの、以下のアプリケーションの保存データファイルをコンバートして、写楽々 ReBoで使用可能にします。

6.1 コンバート対応アプリケーション

アプリケーション名	バージョン	ファイルの拡張子	制限事項
Hyper 写楽々(Jr.)スタンドアロン版	3.05 以上	FDB	※1 ※2 ※3 ※6
Hyper 写楽々ネットワーク対応版	3.5 以上/ Hyper 写楽々Jr.ネットワーク対応版	FDB	※1 ※2 ※3
Hyper 写楽々21	4.58 以上	FDB	※1 ※2 ※3
Hyper 写楽々21DX	4.55A 以上	FDB	※1 ※2 ※3 ※4 ※5

コンバートの制限事項

- ※1 データベース参照設定はコンバートされません。
- ※2 CSV ファイル/汎用ファイル入力の設定はコンバートされません。
- ※3 フィールド入力文字列の途中にある半角設定/倍角設定はコンバートされません。
- ※4 商奉行や商魂のデータ読み込み設定はコンバートされません。
- ※5 入力機能編のフォームファイルはコンバートできません。
- ※6 非同期設定をされていない文書データについて、「フィールド」に関しては、同期を保ったままのコンバートが行えます。（直接入力、OLE、罫線・図形データについては、リンクが解除されてコンバートが行われます。）

6.2 Hyper 写楽々データベースファイルの廃止

写楽々ReBoでは保存ファイルが「フォーム単位」、「文書単位」となりました。これによりHyper写楽々の保存ファイルをコンバートした場合、「フォーム」、「文書」の個数分のファイルが作成されます。

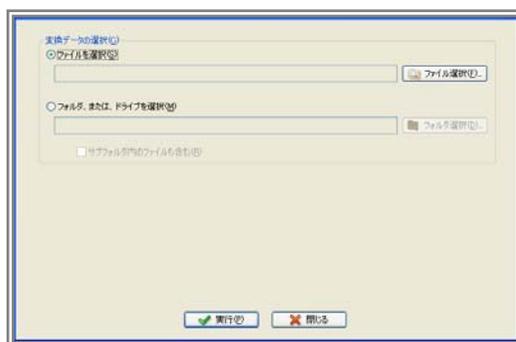
6.3

Hyper写楽々(Jr.)データベースファイルのコンバート

Hyper写楽々のデータベースファイルをReBoのコンバートプログラムで変換します。

6.3.1 コンバートの手順

- ① 「Hyper写楽々データコンバート」を起動します。
- ② [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[写楽々ReBo]→[Hyper写楽々データコンバート]を選択します。

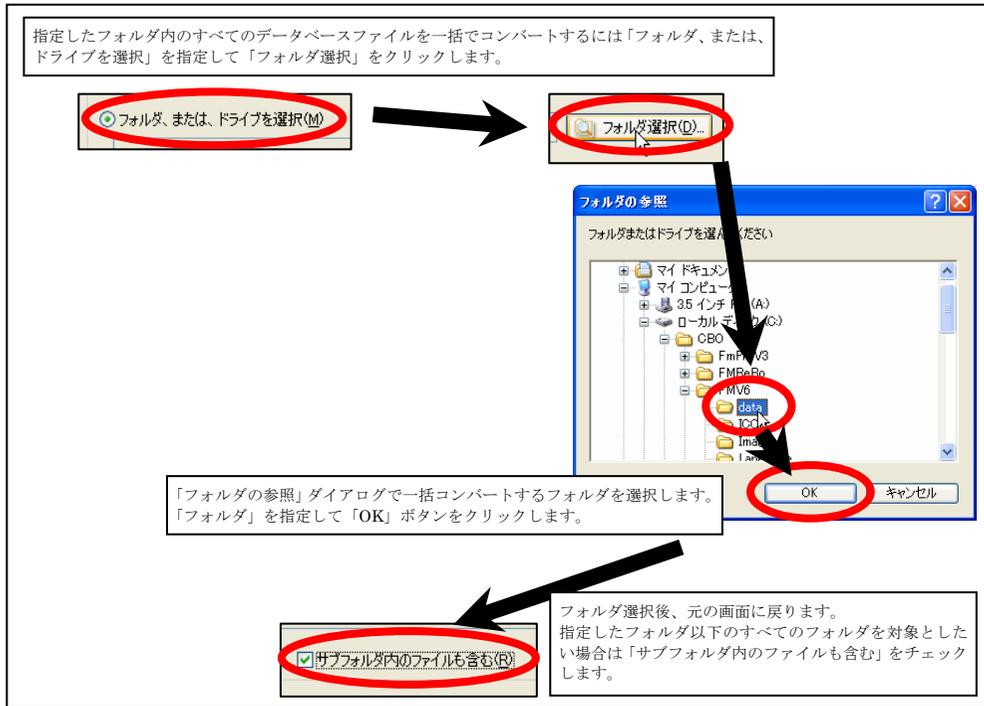


- ③ データコンバートはHyper写楽々のデータベースファイルを1個だけコンバートする方法と、指定したフォルダ内のすべてのデータベースファイルを一括でコンバートする方法の2つがあります。

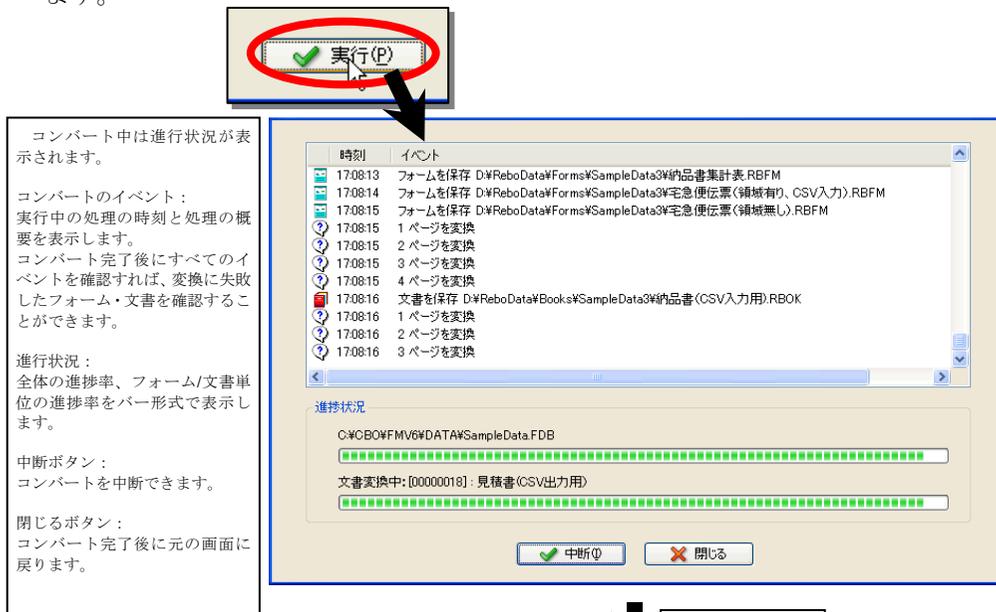
データベースファイルを1個だけコンバートするには「ファイルを選択」を指定して「ファイル選択」ボタンをクリックします。

「ファイルを開く」ダイアログでコンバートするデータベースファイルを選択します。「ファイルの場所」を指定し、次に「データベースファイル」を選択して「開く」ボタンをクリックします。

データコンバート

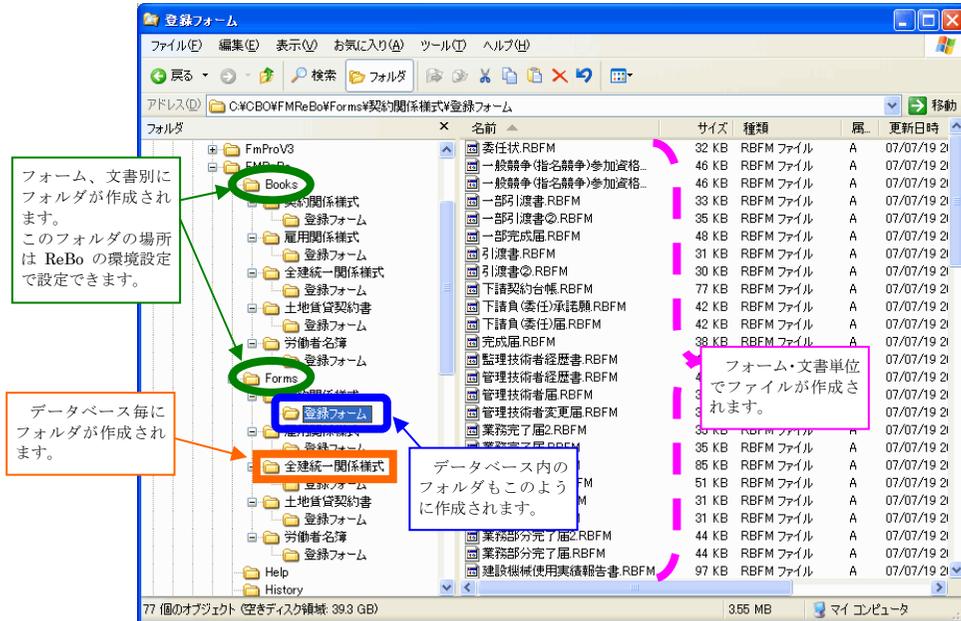


- ④ コンバート対象の設定を行い、「実行」ボタンをクリックしてコンバートを開始します。



6.3.2 コンバートの結果

写楽々のデータベースをコンバートした結果は以下のようなフォルダ構造となります。



写楽々ReBoの格納場所を選択すると、写楽々ReBoの「フォームを開く」画面から開くことができます。(格納場所が解らない時は、**[表示(V)]**—**[環境設定(R)]**で御確認ください。)